

池田市保健事業と介護予防の一体的実施に係る業務委託の公募型プロポーザル 質問への回答

No	質問事項	質問内容	回答
1	実施要領 p.3 10(2) 提出部数について	副本につきまして、社名の黒塗りは不要でしょうか。	社名の黒塗りは不要です。
2	仕様書 P1 2 業務の目的および 仕様書 P2 5 I.(3) ア 受託者は業務完了後 について	取得データの「次期計画（EBPM）」への活用意向について 本事業で取得する運動・認知機能の動的データを、既存の健 診・レセプトデータと突合させ、次期データヘルス計画策定 の基礎資料（医療費抑制の相関分析等）として市側で蓄積・ 活用されることを期待されますでしょうか。	現段階で活用を予定しているものではありませんが、事業実施において取得した データ等を分析した上で、効果検証していくことは必要と考えているため、今後 の計画等に蓄積・活用できることは期待します。
3	仕様書 P3 I.(7) イ この仕様書に基づく 業務の実施について	専門職によるリモート（遠隔）指導の有効性について、理学 療法士等の専門職が会場へ出向く対面指導に加え、画面越し にリアルタイムで動作解析や助言を行う形態についても、仕 様書上の「専門的知見に基づく指導」として、対面と同等の 有効な手法とみなしてよろしいでしょうか。運用上の人員調 整を含む費用対効果の検討の観点からのご質問です。	Ⅲの業務においては、初回面談は対面が必須ですが、2回目以降は病状や他の事情 を考慮して対面または遠隔での支援を実施いただきますので、2回目以降は対 面と同等の有効な手法をみなすことは可能です。 Ⅳの業務においては、指導者の方がリモートで参加し、会場においてスタッフが 指導内容について参加者に適切に指導が行えるのであれば、対面と同等の有効な 手法とみなすことは可能です。
4	仕様書 p4 Ⅱ.(1) 健康計測会等業務につ いて	過去の事業内容および事業実績について教えてください。	令和7年度の健康計測会等業務については、大規模計測会1回、中規模計測会4 回、小規模計測会（シニア向け）4回、小規模計測会（ミドル向け）4回を実 施。 大規模計測会では、「いけだ健康フェスタ」として、歩行機能計測、脳の健康 チェック、血管年齢、骨密度、体組成、血圧、体のゆがみチェック、野菜摂取量 チェック、日常の食事チェック、肌のセルフチェック、健康相談、医師による健 康セミナー、学びの場（通いの場）体験、学びの場修了生による出店などを実 施。（参加人数は304人） 中規模計測会では、65歳以上を対象に、立位姿勢計測、脳の健康チェック、血 管年齢、血圧、下肢周囲長、握力、健康相談、フレイル周知に健康セミナーを地 域のイベントと連携して市内で実施。（参加人数は210人） 小規模計測会では、シニア向けとミドル向けに、血管年齢、血圧、握力、健康相 談、フレイル周知と介護予防イベントの周知を地域のイベントやスーパー等と連 携して市内で実施。（参加人数は688人） 参考に令和7年度のチラシを添付します。
5	仕様書 P6 Ⅱ.(3) ア 健康計測会参加人数 及びイ 健康計測会の参加年齢層 の割合	成果連動額に対する割合が100%となった場合、（例） 8,473,000円 +（10%のインセンティブ）847,300円 =9,320,300円がいただけるという認識で合っています か。	成果連動を含め、8,473,000円を上限としており、その内10%が成果連動（イン センティブ）となります。 そのため、8,473,000円=7,625,700円（最低保証90%分）+847,300円（イン センティブ10%分）となります。
6	仕様書 p.6 Ⅱ.(3) ア健康計測会参加人数に ついて	健康計測会参加人数は、来場者全員が対象でしょうか。	来場者全員（20歳以上の市民に限る）が対象です。
7	仕様書 p.7 Ⅲ.(1) イ 指導候補者の抽出に ついて	リスク判定および対象者抽出を高い精度で行うため、下記 データを1年分、ご提供いただくことは可能でしょうか。 特定健診等被保険者データ（KD_IF015）、レセプト電算 コード情報国保・医科(21_REC0DEINFO_MED.CSV)・ DPC(22_REC0DEINFO_DPC.CSV)・歯科 (23_REC0DEINFO_DEN.CSV) 調剤(24_REC0DEINFO_PHA.CSV) 特定健診受診者 CSV ファイル(FKAC131)、特定健診結果等情報作成抽出（健診 結果情報）ファイル(FKAC163)、特定健診結果等情報作 成抽出(その他の結果情報)ファイル(FKAC164)、その他、 想定されているデータ仕様等がありましたら、教えてください。	指導候補者の抽出については、抽出可能なデータであれば、提供は可能です。 （期間については、要相談）
8	仕様書 P7 Ⅲ.(1) イ 指導候補者の抽出に ついて	指導候補者の抽出について、例年はどのような基準で対象者 を抽出されておりますでしょうか。	指導対象者の抽出基準については、前年度の健診結果から抽出するもので、健診 時の年齢を75～79歳として①血糖・血圧コントロール不良かつ薬剤処方がない 方、②糖尿病、高血圧症で薬剤を中止している方、③糖尿病等の基礎疾患があ り、フレイル状態にある方、④腎機能不良かつ医療機関への受診がない方の4区 分からそれぞれ抽出しています。
9	仕様書 P8 Ⅲ.(1) オ 指導対象者が治療中 の場合について	「主治医に対し情報提供書の提供を依頼すること」とあり ますが、こちらは弊社にて実施する認識でよろしいでしょ うか。 また、情報提供書に関する医師への督促につきましては、貴 市と協議の上、貴市にてご対応いただくことは可能でしょ うか。	これまでは受託者において実施していただいています。
10	仕様書 P8 Ⅲ.(1) キ 初回・中間・最終評 価の各保健指導後等について	「主治医へ初回・中間・最終評価をフィードバックするこ と」と記載されていますが、初回評価（1回目）、中間評価 （3回目）、最終評価（6回目）終了後にフィードバックす るという認識でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
11	仕様書 P9 Ⅲ.(3) 費用負担及び委託事業に おける成果連動について	「事業実施前後で改善したかどうか」とありますが、事業開 始前の数値は指導候補者を抽出する時の数値との認識でよろ しいでしょうか。	事業開始前は、かかりつけ医やその後の健診において直近のデータがある場合は 当該データとし、それ以外は抽出時のデータとしてください。
12	仕様書 P10 Ⅲ.(6) その他について（ア、 イ）	「その他」に記載されている内容について、Ⅲ（1）イの内 容と重複しているように見受けられますため、本件は市と協 議のうえ決定するという理解でよろしいでしょうか。	お見込みのとおりです。
13	仕様書 p.10-12 Ⅳ.(1) 健康計測会等業務につ いて	過去の事業内容および事業実績について教えてください。	介護予防プログラムの「学びの場」として、全6回のプログラムを実施。令和7 年度は4講座（声ヨガ、ハンドケア・パーソナルカラー、ボードゲーム、木工） を開催。（参加人数は64人） 講座修了生の「活躍の場」として学んだこととお披露目する「大人のシュミ活」 を開催。（参加人数は88人） また過去の修了生の方に、地域のイベントでも学んだことの実践でブース出店を 実施。 参考に令和7年度のチラシを添付します。
14	仕様書 P13 Ⅳ.(3) ① 事業参加者総数及び ② アンケート項目に係る数値	成果連動額に対する割合が100%となった場合、（例） 7,700,000円 +（10%インセンティブ）770,000円 = 8,470,000円がいただけるという認識で合っていますか。	成果連動を含め、7,700,000円を上限としており、その内10%が成果連動（イン センティブ）となります。 そのため、7,700,000円=6,930,000円（最低保証90%分）+770,000円（イン センティブ10%分）となります。